

第 106 春季年会(2026)のお知らせ:各種募集概要

第 106 春季年会実行委員会

第 106 春季年会の開催に向け、講演、出展、広告の募集概要につきましてご案内申し上げます。会員の皆様に現地にてお目にかかれまことを、心より楽しみにしております。また、本年会より一部の参加区分におきまして、参加登録費を改定させていただき運びとなりました。今回の改定は年会運営を今後も安定的に継続し、皆様にとってより有意義で快適な学術交流の場を提供させていただくことを目的としております。改定によりご負担をお願いすることとなり大変心苦しく存じますが、何卒本趣旨をご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、春季年会に関する最新情報は、年会公式ウェブサイトにて随時更新してまいりますので、併せてご確認くださいますと幸いです。

主 催 公益社団法人日本化学会

共 催 日本大学理工学部

会 期 2026 年 3 月 17 日(火)～20 日(金)

開催方式 日本大学理工学部 船橋キャンパス

実行委員長 大月 稔(日本大学理工学部・教授)

重要な日程 講演申込期間 2025 年 11 月 4 日～11 月 27 日

予稿原稿提出期間 2025 年 12 月 4 日～2026 年 1 月 14 日

参加登録期間 (早期申込) 2025 年 11 月 4 日～2026 年 2 月 27 日

(直前申込) 2026 年 3 月 10 日～3 月 20 日

プログラム公開日 2026 年 1 月 22 日(予定)

講演予稿集発行日 2026 年 3 月 3 日(予定)

問合せ先 日本化学会 企画部 年会係

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

URL: <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/csj106th>

会期中にご宿泊を検討される場合は、お早目に宿泊先の手配をお願いいたします。

1 講演申込概要

講演申込の概要は以下の予定です。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の講演申込要項をご覧ください。

[注意事項]

- 理由の如何にかかわらず、講演の申込期間の締切日を過ぎたのちの講演申込および申込内容の変更は一切認めません。
- 申し込みは十分な時間の余裕をもって行って下さい。締切間際の問合せには対応できない状況が想定されます。

1.1 期間

2025 年 11 月 4 日～11 月 27 日

1.2 申込方法

演題登録用サイト (Confit) よりお申込み下さい。

1.3 講演内容と講演者の条件

講演内容は未発表のものに限ります。講演申込は日本化学会の個人会員に限り、1 件までとし、申し込みをした本人が講演を行って下さい。

1.4 形式および講演時間

形式	内容
口頭 A 講演	10 分 (講演 7 分・討論 2 分・交代 1 分)
口頭 B 講演	20 分 (講演 15 分・討論 4 分・交代 1 分)
ポスター	45 分

1.5 発表言語

英語もしくは日本語とします。プレゼンテーション時に使用するスライドやポスターデータは英語での作成を強く推奨いたします。なお、発表言語に「英語」を選択した場合は、すべて英語で作成して下さい。

1.6 講演申込分類

本年会では次の 23 部門で発表を募集します。申込時には部門および編成仕分け用のカテゴリを選択する必要があります。編成仕分け用のカテゴリについてはウェブサイトにてご確認ください。

01 化学教育・化学史／02 理論化学・情報化学・計算化学／03 物理化学—構造／04 物理化学—物性／05 物理化学—反応／06 分析化学／07 無機化学／08 触媒／09 錯体化学・有機金属化学／10 有機化学—有機金属化合物／11 有機化学—構造有機化学／12 有機化学—有機結晶・超分子化学／13 有機化学—反応機構・光化学・電気化学／14 有機化学—芳香族・複素環・典型元素化合物／15 有機化学—脂肪族・脂環式化合物、新反応技術／16 天然物化学・ケミカルバイオロジー／17 生体機能関連化学・バイオテクノロジー／18 高分子／19 コロイド・界面化学／20 材料化学—基礎と応用／21 エネルギーとその関連化学、地球・宇宙化学／22 資源利用化学・環境・グリーンケミストリー／23 CIP ポスター

1.7 各種講演賞

本年度では「学生講演賞」・「イノベーション共創講演賞」を設け、優れた講演を顕彰します。各講演賞の対象者・発表形式・対象部門等は下表のとおりです。講演申込時に審査希望の旨、該当欄にチェックを入れて下さい。イノベーション共創講演賞（詳細）については、本誌748ページに産学交流委員会からのご案内がございますのでそちらも併せてご参照下さい。

項目	学生講演賞	イノベーション共創講演賞
対象者	博士後期課程の学生会員であり、かつ、過去に本賞を受賞していない者	正会員および学生会員で、講演申込時に審査希望を申請した者（前回より年齢制限を廃止）。
発表形式	□頭B講演	ポスター
発表言語	英語	日本語 または 英語
対象部門	全部門	部門23：CIPポスター
授与委員会	春季年会実行委員会	産学交流委員会

1.8 発表機材

【□頭】すべての会場に Windows PC 1 台および持ち込み PC 用の HDMI ケーブルを準備します。講演者は発表用資料を USB メモリ（ウイルスのチェックおよび OS 互換性に関してチェック済みであること）を持参し、会場 PC に差して発表して下さい。または自身の PC を使用する場合には HDMI ケーブルを接続して発表して下さい。会場 PC の OS 等詳細は春季年会ウェブサイトに掲載します。

【ポスター】ポスターボード（縦 210 cm×横 90 cm 予定）と画鋏を用意します。ポスターセッションの時間は 90 分（ポスター番号により前半 45 分、後半 45 分が発表時間となります）です。セッション前後の指定時間に貼り付け、剥がして下さい。

2 講演予稿原稿

2.1 提出期間

2025 年 12 月 4 日～2026 年 1 月 14 日

※提出期間の最終日を過ぎた時点で予稿原稿が未提出の場合、講演申込を中止したものとみなします。

2.2 作成方法

春季年会ウェブサイト上の予稿原稿作成要項に沿って PDF ファイルで作成して下さい。春季年会ウェブサイトにおいてテンプレート（雛型）を配布しています。

2.3 表記言語

英語版および日本語／英語併記版のテンプレートを用意しています。発表言語が英語の場合には英語版での作成を推奨します。なお、日本語のみでの作成はお控え下さい。

3 講演予稿集

3.1 発行日

2026 年 3 月 3 日（予定）

3.2 発行形式

形式	内容
Web	参加登録した方が春季年会ウェブサイトにて閲覧およびダウンロード可能です。なお、 <u>会期が終了して 3 ヶ月ののち、年会参加者以外による閲覧を可能とします。</u>

4 参加登録概要

参加登録の概要は以下の予定です。講演申込者・講演者（登壇者）・連名者（共著者）の如何にかかわらず本年会に参加される方は、全員参加登録が必要です（※一部招待者を除きます）。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の参加申込要項をご覧ください。

4.1 期間

（早期参加申込）2025 年 11 月 4 日～2026 年 2 月 27 日
（直前参加申込）2026 年 3 月 10 日～3 月 20 日

4.2 登録方法

参加登録用サイト（Confit）よりお申し込みの上、期日以内に参加登録費をお支払い下さい。※中高生会員の直前申込は会期当日、会場にて受け付けいたします。

4.3 参加登録費

参加登録費および支払い方法は下表のとおりです。なお本年会より、参加区分の一般（会員／非会員）、学生（非会員）の参加登録費を改定させていただきます。改定によりご負担をお願いすることとなり大変心苦しく存じますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

参加区分		参加登録費 (早期申込)	参加登録費 (直前申込)	課税区分
会員	一般 ^{*1}	18,000	21,000	不課税 ※税の適用 の対象外
	シニア/教育 ^{*2}	10,000	12,000	
	学生 ^{*3}	5,000	6,000	
	中高生(聴講のみ)	無料	無料 ※会場にて受付	
非会員	一般	30,000	35,000	課税 ※左記の金額は税込
	学生	7,000	8,000	

*1 個人正会員および法人正会員に登録している機関に所属の方。

*2 シニア会員、永年会員、終身会員、教育会員の方

*3 学生会員、教育学生会員、ジュニア会員、中高生会員（登壇）の方

4.4 支払い方法

支払い方法は下表のとおりです。支払い完了後、参加登録用サイト（Confit）内にて領収書を発行します。領収書の発行は PDF 形式のみです。なお、請求書の発行はありません。

参加申込時期	支払い方法
早期参加申込	銀行振込、クレジットカード払い
直前参加申込	クレジットカード払い

5 付設展示会出展募集概要

詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください。

5.1 概要

会期 2026年3月17日～19日（3日間）

会場 日本大学理工学部 船橋キャンパス 理工スポーツホール

出展の対象

汎用科学機器・装置／汎用器具・消耗品／分析機器・装置／物理量・物理測定装置／試験機器・装置／実験室設備／試薬類／情報処理技術／書籍／環境関連機器・装置／インターネット関連／安全性試験受託・分析リサーチ／耐震・防災・保護・避難／PRTR 対策技術／コンピューターケミストリー関連ソフト／コンビナトリアルケミストリー／ナノテクノロジー関連／バイオテクノロジー関連／大学 TLO・知財本部／特許事務所 等

5.2 お問い合わせ先

(株)化学工業日報社 企画局 担当：松枝

電話 (03) 3663-7936 FAX (03) 3663-7861

E-mail: sympo@chemicaldaily.co.jp

6 広告募集概要

下記内容にて春季年会の広告を募集します。詳細は春季年会ウェブサイト掲載の募集要項をご覧ください。

6.1 募集広告一覧

媒体名	掲載場所等
①ウェブサイト・バナー	第106春季年会ウェブサイトのバナー広告掲載。申込随時掲載予定。
②メールテキスト広告	第106春季年会参加者への配信メール内にテキスト広告を掲載。
③ポスターボード広告	ポスター・付設展示会場にポスターを掲載。
④モバイルアプリ・バナー	第106春季年会モバイルアプリにバナー広告を掲載。
⑤ネックストラップ広告	貴社ロゴ入りネックストラップを第106春季年会会場で配布。

6.2 お問い合わせ先

①ウェブサイト・バナー、②メールテキスト広告、③ポスターボード広告、④モバイルアプリ・バナー

(株)化学工業日報社 企画局 担当：松枝

電話 (03) 3663-7936 FAX (03) 3663-7861

E-mail: sympo@chemicaldaily.co.jp

①ウェブサイト・バナー、④モバイルアプリ・バナー、⑤ネックストラップ広告

(株)明報社 担当：後藤

電話 (03) 3546-1337 FAX (03) 3546-6306

E-mail: goto@meihosha.co.jp

第106春季年会(2026)「イノベーション共創講演賞」 “Co-Innovation Presentation Award 2026”のご案内

産学交流委員会 委員長 住田康隆

日本化学会産学交流委員会では、2008年度から「優秀講演賞（産業）」の表彰を行っています。来る2026年3月17日（火）～20日（金）、日本大学理工学部 船橋キャンパスにて開催される標記年会においては、下記要領で審査・選考を行い、優れたポスター講演者に対して「イノベーション共創講演賞」（前回から名称を優秀講演賞（産業）より変更）を授与します。

「CIP ポスター ～社会を変えるイノベーション～」では、明確な応用を目指した研究はもちろんのこと、応用展開の可能性を探索するフェーズの基礎研究も産業界目線でのアドバイスをいただくことができる良い機会ですので、産学官の研究者および学生からのポスター発表を期待しています。また、これまでに発表された基礎的な研究内容においても、応用展開に言及した新たな内容であれば大歓迎です。

このCIPポスターに対して企業の審査委員が講演者と質疑応答を行い産業界の視点で審査します。奮って応募下さい。

選考対象者：

正会員および学生会員で、講演申込時に審査希望を申請した者（前回より年齢制限を廃止）。過去の受賞経験者は、研究内容が全く異なる場合、あるいは研究開発ステージが上がるなど研究の進展が顕著な場合に限り対象とします。

審査対象：

アカデミックプログラム部門 23. CIP ポスター

審査分野：

下記P1～P5の5つの産業適用分野を審査分野とします。講演申込時に審査分野を明記して、審査希望を申請して下さい。

P1. エネルギー（例：太陽電池、燃料電池、蓄電池、水素エネルギー、熱電素子、省エネルギープロセス、等）

- P2. 資源・環境・GSC (Green Sustainable Chemistry) (例：カーボンニュートラル, 元素戦略, 人工光合成, CCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage), 水処理, リサイクル, マイクロプラスチック対策, バイオマス利用, 生分解性材料, 等)
- P3. 新素材・材料・反応 (例：自動車素材, 航空用素材, 建築素材, 構造材, 包装材, 繊維, エレクトロクス材料, 光学材料, 触媒, 化学プロセス, 新規合成法, 等)
- P4. DX 関連 (例：マテリアルインフォマティクス, 化学シミュレーション, 量子化学計算, ビッグデータ活用, AI 利用, 自動実験, 等)
- P5. 医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー (例：医薬品リード・シード (低分子, 中分子, バイオ医薬品, ペプチド医薬, 核酸医薬, 等), 診断薬, AI 創薬技術, 細胞医療, 人工臓器, 再生医療, 医療材料, 生体機能計測技術, バイオ農作物, 農薬, 肥料, 代替食品, 機能性食品, 健康食品, 香粧品, 等)

発表言語：

日本語または英語

選考方法：

産学交流委員会関連の企業委員, 日本化学会フェローなどのほか, 委員より推薦され委嘱された企業審査委員が選考基準に基づいて審査し, 会期後に CIP 企画小委員会で選考を行い, 産学交流委員会で決定します。

選考基準：

産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念, アイデア, 実験手法, 実験結果などについての発表であり, 講演者の研究に対する主体性や貢献度が優れ, かつ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの。

授与件数：

おおむね 20 件に 1 件の割合で授与します。

賞状の授与：

日本化学会会長名の賞状を授与します。会期後, 日本化学会から所属長を経由して本人に賞状を送付し, 後日, 「化学と工業」誌に氏名, 所属, 演題などを掲載します。

第 20 回 PCCP Prize 受賞候補者の募集について

日本化学会運営会議

Royal Society of Chemistry (RSC; 英国王立化学会) が発行する学術誌 PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) ならびに Faraday Discussion では “PCCP Prize” を設けており, RSC の協力依頼に応じ本会理事会承認の下, 2007 年から毎年, 数名の受賞候補者の公募を行っております。受賞者は第 106 春季年会会期中の表彰式 (会期 2 日目) にて表彰いたします。本年度も受賞候補者を募集いたしますので, 奮ってご応募, ご推薦願います。なお, 本賞の選考対象・応募資格・応募方法などは下記のとおりです。

■名称：

PCCP Prize

■授賞機関：

Royal Society of Chemistry

PCCP (Physical Chemistry Chemical Physics) and Faraday Discussion

■選考対象・選考基準：

本会会員 (ディビジョン登録者) で, 物理化学, 光化学, 理論化学, 無機化学, 錯体化学・有機金属化学, 高分子化学, 触媒化学, 分析化学, 電気化学, コロイド・界面化学, ナノテク・材料, など PCCP がカバーする領域で傑出した研究成果があり, 将来の活躍が期待される若手研究者 (受賞年 2026 年 4 月 1 日時点で満 35 歳未満の方) で, かつその成果の一部を自身が日本化学会第 106 春季年会で発表する者 (□頭 B 講演および各種受賞・招待講演; □頭 A・ポスター講演は除外)。なお, 日本化学会進歩賞との同時受賞はできません。

■応募・選考方法：

※応募 (自薦, 他薦)：

本会ウェブサイトから①所定の用紙をダウンロードし, 所定事項を記入の上, ②論文リストおよび③最近 (なるべく過去 3 年以内) 掲載された論文別刷り 1 報 (※PDF などの電子版が望ましい), を添付の上, 登録ディビジョン宛てにお申し込み下さい。

※ディビジョン推薦：

ディビジョン主査は, 当該ディビジョンに応募のあった候補者が複数名の場合には順位をつけた上で, 受領した応募書類のすべてを日本化学会内「PCCP Prize 選考委員会」宛てに転送し推薦を行う。「PCCP Prize 選考委員会」はディビジョン主査から推薦のあった候補者の業績内容を審議し, 3 名程度の受賞者を選定する。受賞候補者は日本化学会理事会に報